

1. 試験方法：以下のJIS法にて試験してください。

A法：機器分析

JIS G 1253、JIS G 1256

B法：化学分析(試験項目に対応する試験方法で試験を行って下さい。)

JIS G 1211-1, JIS G 1211-2, JIS G 1211-3, JIS G 1211-4, JIS G 1212, JIS G 1213, JIS G 1214, JIS G 1215-1, JIS G 1215-2, JIS G 1215-3, JIS G 1215-4, JIS G 1216, JIS G 1217, JIS G 1218, JIS G 1219, JIS G 1221, JIS G 1224, JIS G 1226, JIS G 1257-1, JIS G 1257-10-1, JIS G 1257-10-3, JIS G 1257-10-4, JIS G 1257-11-1, JIS G 1257-11-2, JIS G 1258-1, JIS G 1258-2, JIS G 1258-3

A + B法：元素によってA法とB法を使い分けて定量する方法。但し、同一元素について、2個の試料で方法を変える事を禁止します。

試験コード	品 種
MC-0A	炭素鋼・低合金鋼 A法
MC-0B	炭素鋼・低合金鋼 B法
MC-AB	炭素鋼・低合金鋼 A+B法

2. 試験項目：記入用紙に記載された元素を質量%で定量する。

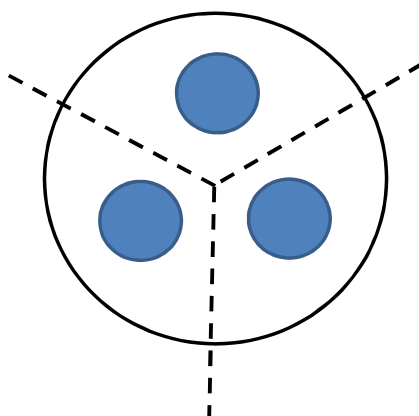
C, Si, Mn, P, S, Cu, Ni, Cr, Al, Mo

(合計 10元素)

3. 試 料：ブロック試料が2個同封されます。

A法の場合は、エッジより直径の4分の1中に入った点で、下図のようにほぼ均等に分割した位置を分析してください。

B法の場合は、これに相当する位置から測定用試料を加工の上、定量してください。



【注意】

試料の平均的な含有率を求めることが目的であるため、上図3点間で若干のばらつきがあっても、そのまま報告してください。ばらつきを小さくするために、特定の部位のみに集中して分析するのは、技能試験の趣旨に添いませんので、ご注意ください。

